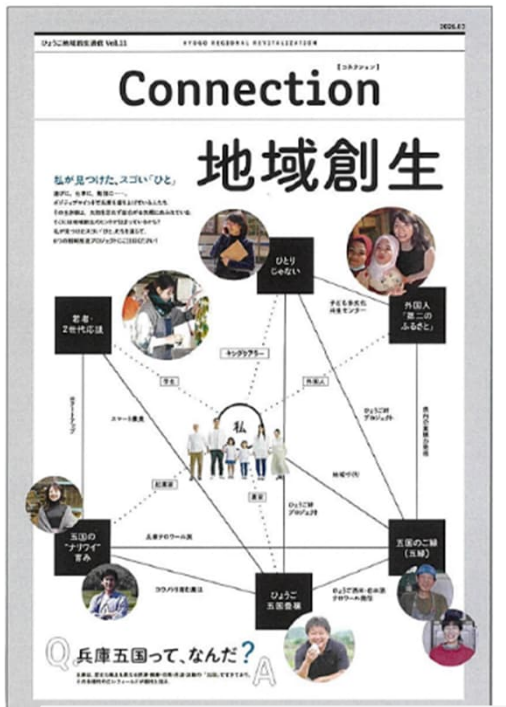

地域創生戦略の広報・プロモーションの実施状況

広報紙「地域創生通信」の発行

広報紙「ひょうご地域創生通信」の発行



地域創生通信とは...

地域創生に関する取組や施策、県内で活躍されている地域のプレイヤーや移住者の声などの体感的な情報を盛り込んだ広報誌（これまでvol.10まで発行）

〇ひょうご地域創生通信vol.11 概要

サイズ：タブロイド判 ページ数：8ページ
印刷部数：1万部（県民局、市町、県内大学・短期大学　ほか）
制作受託者：（株）ロータリービジネス

〇コンセプト『Connection【縁】』

〇全体方針 **県の事業に横串を通した広報**（「移住」に拘らない、**部局を跨る広報**）

〇タブロイドの考え方

- ・6つの戦略推進プロジェクトに関連した直接的なキーワード（くう、すむ、おこす（起業）等）から「具体」を提示しながら読書目線の記事に編集
- ・読み手を意識して、**自分事に捉えやすいよう生活関連の内容を中心に、県の取組やアクション委員会の活動を交えながら作成**（既にアウトプットされた情報も活用）



広報紙「ひょうご地域創生通信」の発行

8月



受託事業者
決定

10月~11月



取材

アクション委員会にも参加を依頼し、委員会の活動を紹介するコンテンツを作成

11月~



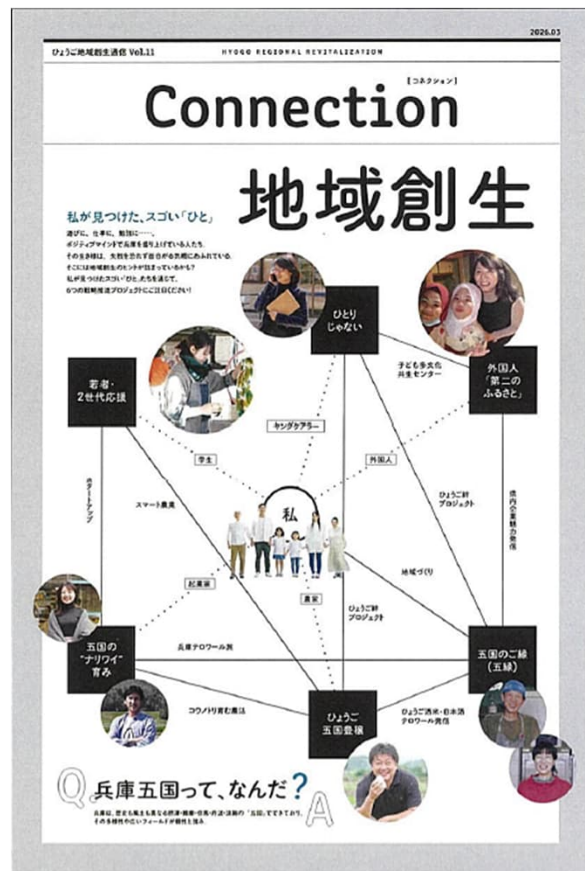
デザイン
編集

関係箇所へ配布

- ・ 県民局
- ・ 県内市町
- ・ 県内の大学、短期大学
- ・ NPO団体（メールにて周知）
- ・ 移住プラザ（東京）
- ・ 県主催のイベント、セミナー

※紙媒体として10,000部を作成予定

1月下旬～2月上旬



地域創生通信vol.11
完成

メディアミックスによる さらなる広報展開



InstagramやXでの投稿

- ・フォロワー約6.8万人のインスタによる発信
- ・X上での情報拡散



計画課オウンドメディア 「兵庫で暮らせば…」との連携



地域創生通信LPの作成及びGDN広告の活用

インフルエンサーによる兵庫暮らしの体験レポートやアクション委員会の活動記事等を掲載した地域創生通信LPを作成し、幅広いターゲットに向けてGDN（Googleディスプレイネットワーク）広告を展開

広報紙「ひょうご地域創生通信」の発行

〈参考〉地域創生LP

インフルエンサー自身の言葉で執筆した体験レポート記事の作成

- 〈体験内容〉
- ・ひょうごオープンファーム
 - ・1日移住体験（〇〇市）

※県外向け、県内向けでインフルエンサーを使い分け



アクション委員会の活動記録

アクション委員会の開催の様子や地域創生フェスへの出演、県事業への参画など委員会の活動を紹介

心地よい暮らしをするために取り組んでいること
地域創生が生活の中に溶け込んでいる

という視点で作成